

御はがための御祝、御つぼ盃出ル、一番御かゝみ、二番いも、三番やき物、四番ひしほ、五番ねぶか、かうの物、御銚子出ル、御はいせん五ツ衣にてつとむ。

〔形管記〕御はがための次第

一 こん御つぼさかづき、二 御かゝみ、三 いも、四 やきもの、五 むし、六 ねぶか、宗直云、御つぼさかづき、今は例のさかづき也、ふたとい有之、ねぶか、ねぶか大根と申て、大根細くしたるもの、

〔公家年事上〕正月元日 御齒固

一番御鏡餅 二番芋 三番焼物 四番ひしほ 五番奈良漬 御銚子 御陪膳典侍五衣にて勤む

〔友俊記〕年中御作法の大概物がたり中略 一 御齒固を供ず、御こん、御とほ、かゝみ餅、かちぐり、かちぐり、三方白き粉ぬり、若松竹鶴龜、色繪、四方の角に絲のつくり松、總角あり、御そへものは土高坏にのる、女中典侍内侍命婦きぬなり

〔爲房卿記〕延久五年正月一日辛巳、拜禮了後、中略 采女二人供御齒固、進物所調進之、御盤三枚也、御獻之、 次典藥供御藥酒、中略

〔玉海〕文治三年正月一日癸卯、余參内、中略 參御前、此間主上有御齒固事、著給公卿引直衣、内府依勅定勤仕陪膳、

〔伏見院御記〕弘安十一年正月三日己丑、御齒固等如例、

正應三年正月一日乙巳、於朝餉供夕御膳御齒固等、二日丙午、酉刻供御藥、中略 次於朝餉供朝夕膳御齒固等、五年正月一日甲午、於朝餉供御膳齒固如例、二日乙未、御齒固御膳等如昨、

〔公清公記〕貞和六年正月一日丁巳、供御齒固、

〔御湯殿の上の日記〕文明九年正月三日、中略 御はがため、けふまですきくとまわりてめでたし、

〔親長卿記〕文明九年正月一日庚子、有御齒固云々、無臺盤直供之歟、